



横浜港と茨城港常陸那珂港区のつながりについて

2024年2月14日

横浜川崎国際港湾（株）



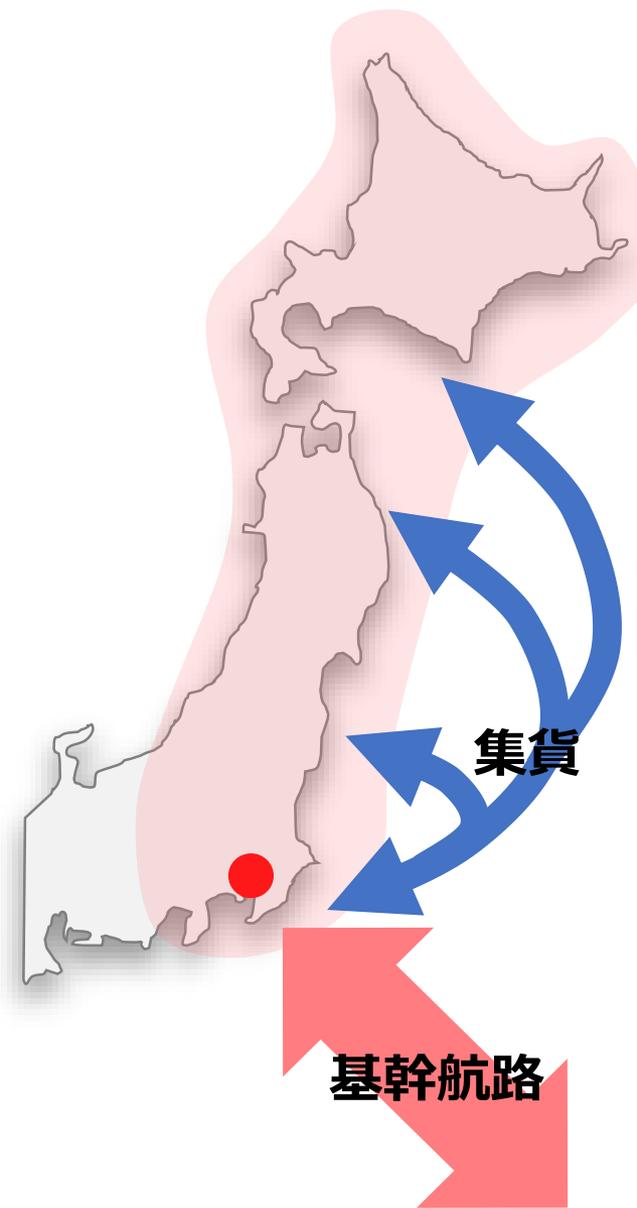
1. 当社について

社名	横浜川崎国際港湾株式会社 Yokohama Kawasaki International Port Corporation (通称：YKIP)
設立日	2016年1月12日 同年3月 港湾法に基づき、国際戦略港湾・京浜港における港湾運営会社に指定。
本社所在地	横浜市西区みなとみらい二丁目3番1号クイーンズタワーA 14階
代表者	代表取締役社長 人見 伸也
資本金等	20億円
株主構成	国(50%)、横浜市(47.25%)、川崎市(2.25%)、 株式会社三井住友銀行(0.45%)、株式会社横浜銀行 (0.05%)
事業内容	横浜港・川崎港におけるコンテナターミナルの管理運営等

国際コンテナ戦略港湾 京浜港
特定港湾運営会社 YKIP

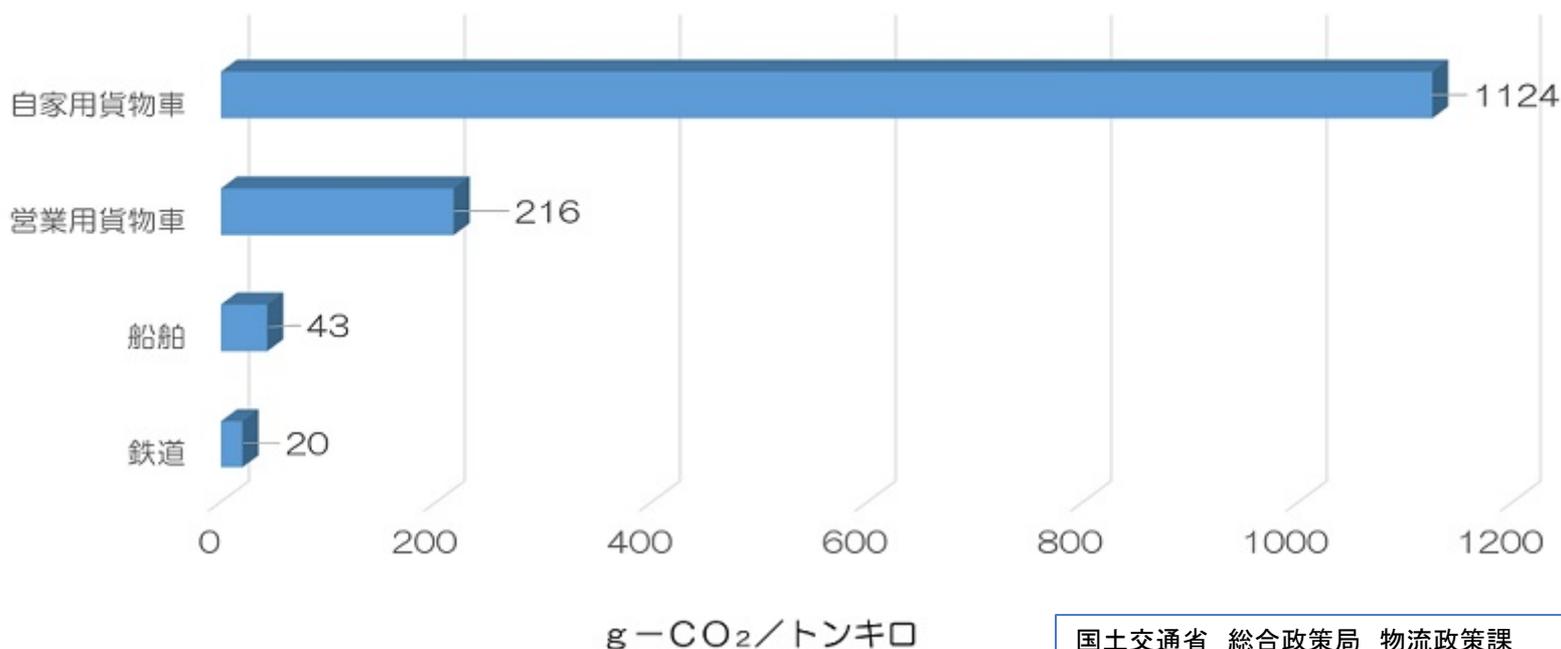
【目標】 基幹航路寄港の維持・拡大
(基幹航路=欧州・北米・中南米・豪州・アフリカ航路)

【取組】 東日本各地から
横浜港・川崎港への集貨



- **トラックドライバー2024年問題対応** 長距離輸送は、、、
- **環境に優しい物流の構築** 船や鉄道に脚光！

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量（2021年度 貨物）



国土交通省 総合政策局 物流政策課
物流効率化推進室HPより抜粋

常陸那珂港区と横浜港の国際フェリーを活用した物流を選択肢に！



記者発表資料

令和4年12月21日
横浜市港湾局
茨城県土木部

茨城県と横浜市は、脱炭素化や産業の活性化等、 茨城県内港湾と横浜港の発展に向けた連携協定を締結しました

茨城県と横浜市は、産業や地域の活性化に資するとともに環境負荷低減や労働人口減少等といった社会課題への対応を目的として、茨城県内港湾と横浜港の連携を図るため本協定を締結しました。

- 1 締結日 令和4年12月21日（水）
- 2 場所 都道府県会館
- 3 協定締結者 茨城県知事 大井川 和彦
横浜市市長 山中 竹春
- 4 協定内容

カーボンニュートラルポートの実現、海上輸送ネットワーク強化による荷主の利便性向上、クルーズ客船誘致・受入の推進などに向けた連携体制の強化による両港の発展に向けて、相互協力体制を構築します。



締結式の様子（左から茨城県 大井川知事、横浜市 山中市長）

茨城県内港湾と横浜港の連携に関する協定書

茨城県と横浜市は、産業や地域の活性化に資するとともに環境負荷低減や労働人口減少等といった社会課題への対応を目的として、茨城県内港湾と横浜港の連携を図るため本協定を締結し、カーボンニュートラルポートの実現、海上輸送ネットワーク強化による荷主の利便性向上、クルーズ客船誘致・受入の推進などに向けた連携体制の強化による両港の発展に向けて、相互協力体制を構築するものとする。

令和4年12月21日

茨城港・鹿島港港湾管理者
茨城県知事

横浜港港湾管理者
横浜市市長

大井川 和彦

山中 竹春

お問合せ先

横浜市港湾局物流運営課担当課長 山本 智 Tel:045-671-2919
茨城県土木部港湾課港湾経営室（港湾振興）室長補佐 渡辺 伸幸 Tel:029-301-4536

4. 横浜港と全国各港とのつながり

横浜港寄港の国際フィーダー航路
合計 38.5便/週



2023年11月現在

5. 横浜港のコンテナ貨物取扱量

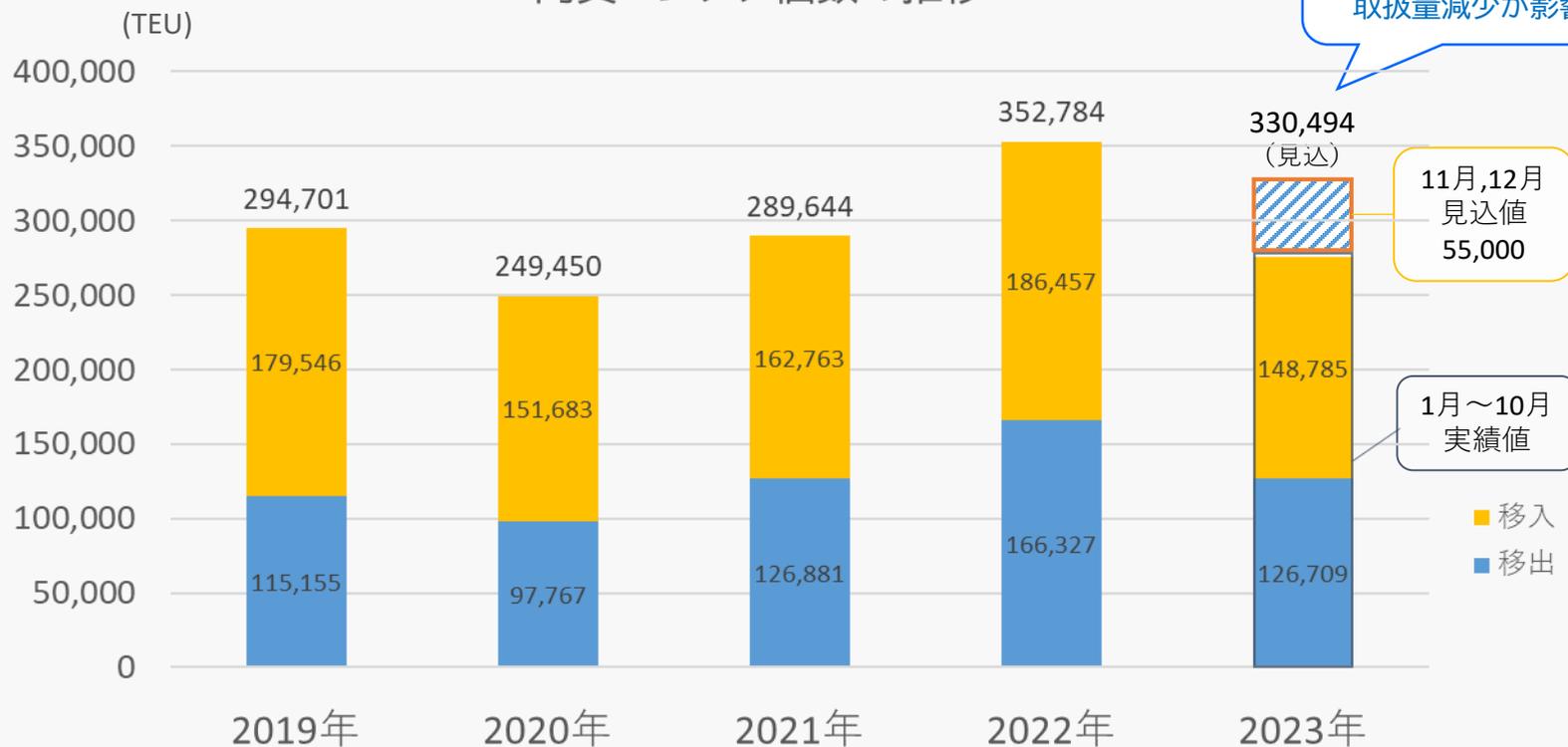
【2022年 横浜港の取扱量】

298万TEU

外貨：263万TEU

内貨：35万TEU

内貨コンテナ個数の推移



前年比6割増であった
苫小牧港発着貨物の
取扱量減少が影響

11月,12月
見込値
55,000

1月~10月
実績値

■ 移入
■ 移出

6. 茨城港常陸那珂港区との内貿コンテナ個数

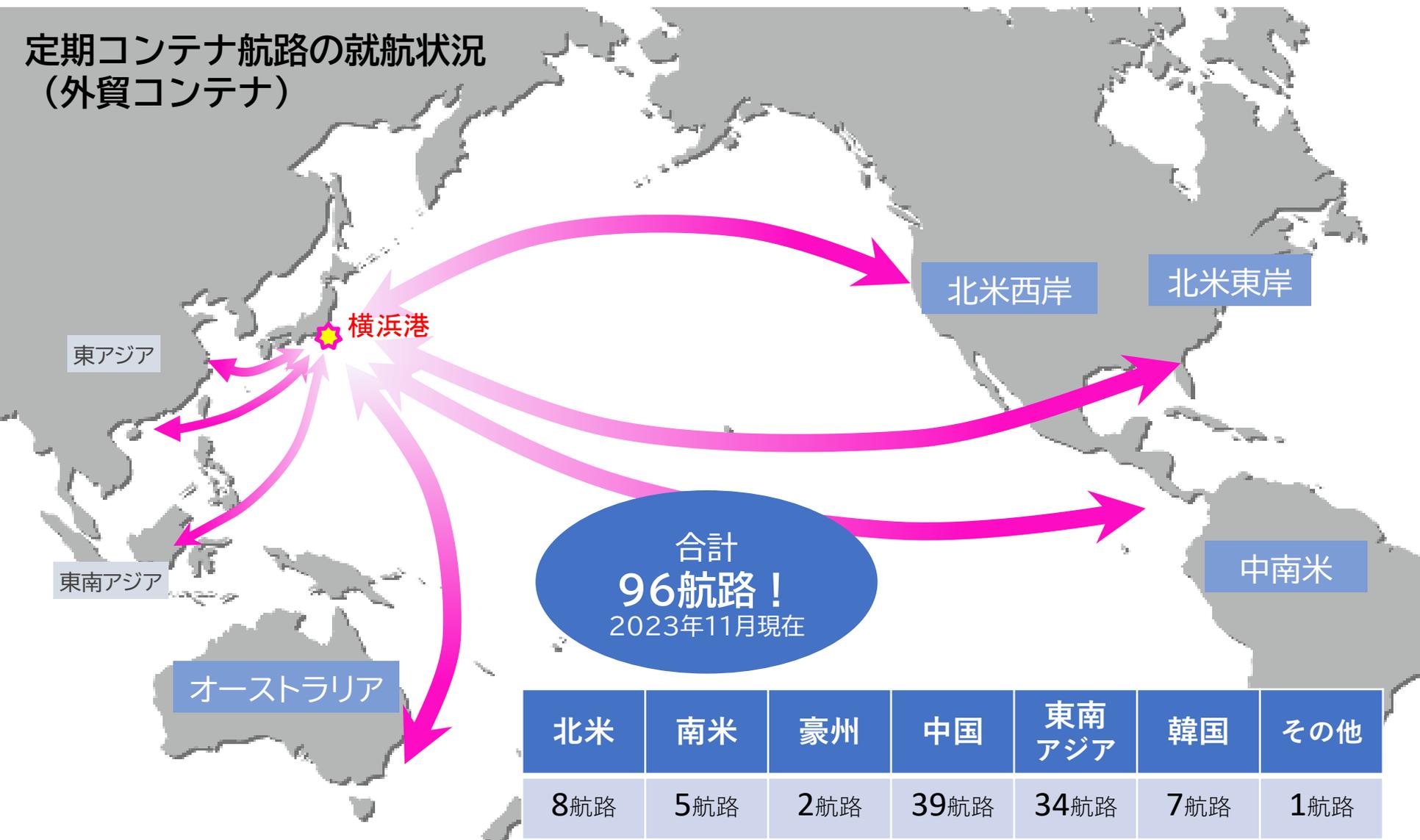
横浜港と常陸那珂港区との内貿コンテナ個数の推移



2024年1月現在

7. 横浜港と世界のつながり

定期コンテナ航路の就航状況
(外貿コンテナ)



北米	南米	豪州	中国	東南アジア	韓国	その他
8航路	5航路	2航路	39航路	34航路	7航路	1航路

2023年11月現在

■国内主要港湾における基幹航路数の比較

航路	横浜港	東京港	大阪港	神戸港	名古屋港
北米西岸	7	7	3	4	3
北米東岸	1	0	0	0	0
欧州	0	1	0	1	1
中南米	5	0	0	0	0
豪州	2	1	1	1	0
アフリカ	0	0	0	0	0
合計	15	9	4	6	4

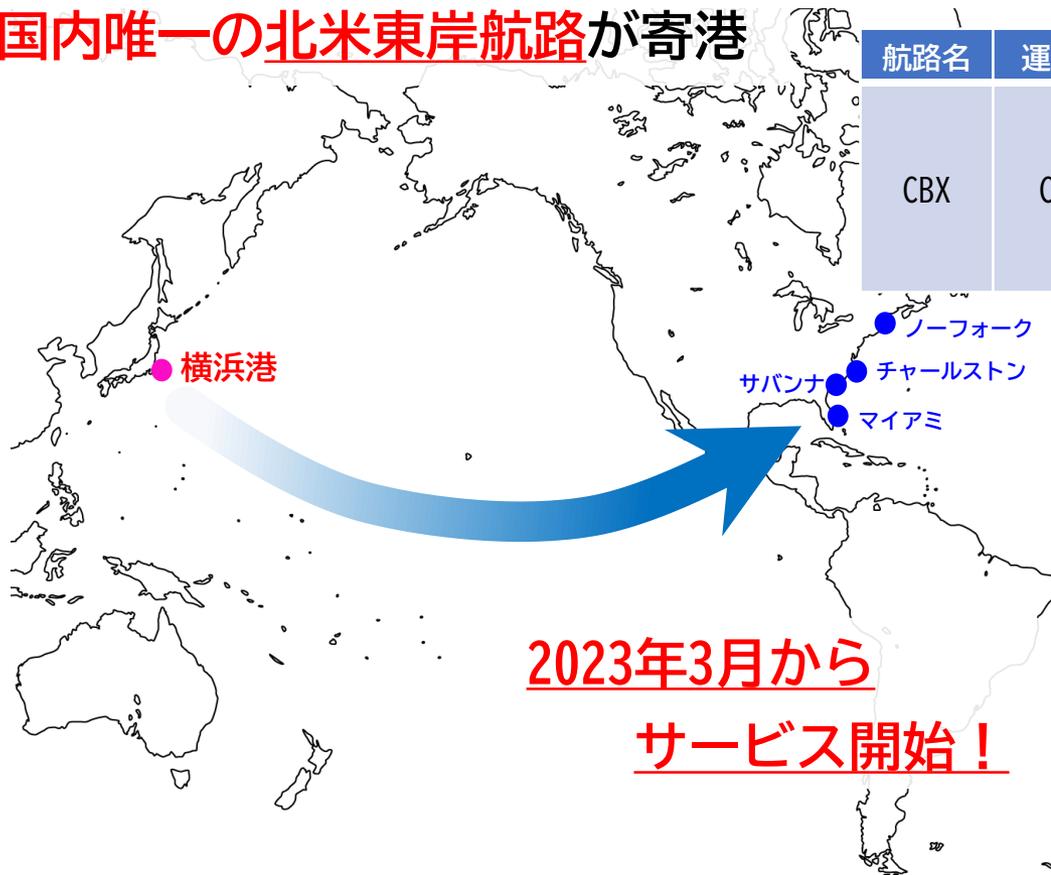
2023年11月現在

横浜港が最多の基幹航路数 → 世界各国とつながっている

8. 国内唯一の直航サービス

国内唯一の北米東岸航路が寄港

航路名	運航事業者	EB/WB	寄港地
CBX	CMA CGM	EB	シンガポール - レムチャパン - ハイフォン - 塩田 - 寧波 - 上海 - 釜山 - 横浜(土) - ノーフォーク - サバンナ - チャールストン - マイアミ - シンガポール



**2023年3月から
サービス開始!**

直行便で北米東岸へ輸出可能

【北米東岸への輸出品目】

順位	品目
1	自動車部品
2	産業機械
3	ゴム製品
4	染料・その他化学工業品
5	電気機械

2023年3月～10月実績

8. 国内唯一の直航サービス

国内唯一の中南米航路が寄港



直行便で中南米へ輸出入可能

【中南米からの輸入品目】

順位	品目
1	野菜・果物
2	畜産品
3	水産品
4	飲料
5	その他農産品（コーヒー豆等）

【中南米への輸出品目】

順位	品目
1	自動車部品
2	完成自動車
3	電気機械
4	産業機械
5	ゴム製品

2023年1月～10月実績

国際フィーダー航路

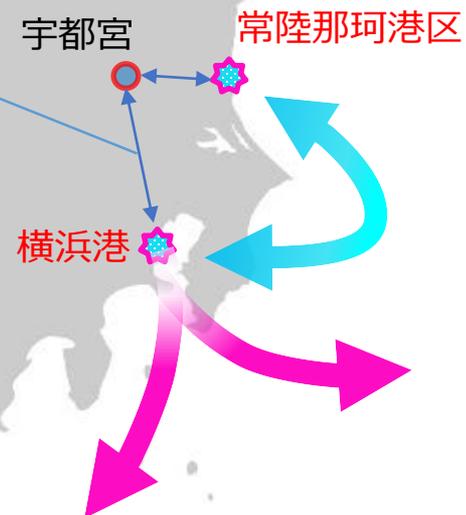
- 航路数 週3便
運航船社
- ・井本商運
 - ・横浜コンテナライン
 - ・OOCL/鈴与海運 (専用船)

国際フィーダー輸送のバックアップとして

陸上輸送

<宇都宮～横浜港>
東北自動車道、首都高速道路

複数の輸送ルート確保が可能



10. 国際フェーダーサービス一覧

接続する 外航船社	運航船社	輸出入先地域	問い合わせ先
CMA CGM JAPAN	横浜コンテナライン	北米、中南米、豪州、東南アジア、韓国、中国	https://www.cma-cgm.com/static/JP/attachments/NICE%20CX-ONE%E5%B0%8E%E5%85%A52%207-11-23.pdf
COSCO	横浜コンテナライン	北米、中南米、豪州、東南アジア、中国、欧州、ニュージーランド、中東、アフリカ	営業推進サポートチーム 03-6328-2087
Interasia Lines	横浜コンテナライン	東南アジア、中国	運航部 03-3580-6555
Maersk	井本商運	北米、中南米、東南アジア、中国	カスタマーサービス (輸出入) 050-4560-2762
ONE	井本商運	中南米、アフリカ、豪州、東南アジア	https://jp.one-line.com/ja/jp-contact-information ※担当がお判りの場合は、直接各担当までご依頼願います。
OOCL	<ul style="list-style-type: none"> ・井本商運 ・鈴与海運 ・OOCL専用船（鈴与海運） 	北米、中南米、豪州、東南アジア、韓国、中国	https://www.oocl.com/japan/jpn/localinformation/localcontacts/Pages/default.aspx

2024年1月現在

ご清聴ありがとうございました



横浜川崎国際港湾株式会社